



楽しかったね、サマースクール

7月27日(水)～29日(金) 舟形町・若あゆ温泉あゆっこ村

7月27日(水)から3日間、自然豊かな舟形町「あゆっこ村」のコテージを会場にサマースクールが開催されました。参加した子どもたちから楽しかった夏の思い出の感想をいただきましたので紹介いたします

- サマースクールでたのしかったこと、おにいちゃんたちとあそんだこと。(小1・早坂海人)
- サマースクールで心にくったこと! 公園で、けいどろとバナナおにをしていっぴつかまえたねと、シスターからすごいねと言われたので、心にくりました。(小2・小沼花繪)
- 神父さんからアイスももらったことがうれしかったです。(小2・奥山夢斗)
- サマースクールの思い出。サマースクールで楽しかったことは、1日目/ゆりちゃんとみほちゃんと友達になれたこと、2日目/アユつかみどり、バーベキューをやったこと、3日目/花繪ちゃんと友達になれた。(小5・丸山麗奈)
- サマースクールの思い出。1日目、初めての友だちと仲良くなれてよかったです。2日目、アユのつかみどりで、意外にも3匹つかまえて、とってもうれしかったです。バーベキューもおなかいっぱいになるまで食べました。3日目、最後の日もみんなと楽しく過ごせました。来年も来たいです。(小5・丹麗奈)



心配された天気もなんとか持ちこたえアユのつかみ取りで大物をゲット!



感じたことを祈りに込めて

今回山形でのサマースクールに参加させて頂き、貴重な体験をさせて頂きました。信者でない子どもたちも多く参加していて、楽しいサマースクールを通して、神様の存在に気づく良い宣教の機会にもなったと思います。

私が今回のサマースクールで一番心に残ったことは、グループ活動で小学5年生から中学3年生の女の子たちと3月に起きた震災について分かち合いをしたことです。前の日のSr.宮澤による話やサレジオの志願者がくださった劇を見て、自分たちに何ができるのか、どんな祈りができるのか、また自分たちも大きな地震を体験してどう感じたか分かち合いました。それぞれ、自分たちの思っていること、感じてること、決心したことを素直に口にしてくれました。小学生・中学生も自分たちなりにいろんなことを考えているのだと感じ、私にとってもとても刺激になり、よき分かち合いができました。リーダーとして、それを、祈りという形でまとめるのがとても難しく感じましたが、皆で話し合っひとつの祈りを作ることができました。必ず

イエスのカリタス修道院
ポストラント 眞倉 結花

神様は皆の祈りを聞き入れてくださると信じ、皆でこの祈りを唱えました。私自身も何か参加者の心に残るように、決心したことを前向きに行うこと、そして神様の力を願うように話しました。子どもたちがどう感じたかわかりませんが、神様のことを言葉にして伝えていくことは必要なことだと思いました。

その他の活動でも、川遊びや外遊びの時には天候に恵まれ、ミサや光の集いで祈りを通して神様の恵みを感じることができました。

今回のサマースクールを通して参加してくれた子どもたちが一人でも多く神様・イエス様の恵みに気付くことができますように。またサマースクールという形で子ども達に対する宣教司牧の場が与えられたことに感謝し、このような活動がいろんな場で行われることを祈りながら生活していきたいと思います。なにより大きなけがや事故もなく、参加者にとっても、私たちスタッフにとっても、楽しく充実したサマースクールになったこと、神に感謝。

子どもたちと共に震災を考える

7月27日から29日にかけて新庄の奥にある舟形のあゆっこ村において山形教会のサマースクールに参加しました。新庄教会の子供と合わせて約20名の子供たちと3日間をともにすることができました。山形に行くのは2年前のダミアン神父の列聖記念式典以来で初めて山形の子供たちのアシステンツァをすることになり最初は不安でしたが、子供たちの受け入れが早くすぐに仲良く遊ぶことができました。残念なことに初日の夜から雨が降ってしまい2日目のプログラムでの「鮎のつかみどり」や水遊びができなかつたと思われましたが、神様の計らいによってか無事行うことができました。(苦笑)また、レクリエーションも盛り上がり子どもたちは大いに喜んでくれました。

横浜サレジオ志願院
高校2年 高津 暁

キャンプのテーマとしては3月11日に起こった東日本大震災をあげて、子供たちに考えてもらいました。シスターの話で大船渡の様子を聞いて僕自身ショックをまた受けました。なぜ神様はこのような試練をおあたえになるのか…。改めて考えさせられたときでした。

僕はこのキャンプで子供たちの元気な姿を見て、自分も常に元気な姿でありたいと思いました。そういう姿が被災した方々には元気を与えるのではないかともしました。この司牧を通してまた成長することができたと思うし、新たな発見をすることができたいい機会となりました。今後も司牧をするにあたって得たものを忘れずに取り組んでいきたいと思っています。

たくさんのごことを学んだキャンプ

横浜サレジオ志願院

高校2年 竹内 健

まずこの場を借りて山形サマーキャンプに参加させて頂いたことを感謝したいと思います。ありがとうございます。

僕は山形のサマーキャンプは初めてだったので、子ども達とちゃんと仲良くなれるのか心配でした。でも子ども達から積極的に話しかけてくれたり、一緒に遊んだり、食事をしたりするうちにすぐに仲良くなることができました。

僕がこの山形サマーキャンプで一番印象に残ったことはキャンプの中で東日本大震災の被災者の方々を助けるために自分に何ができるか話し合ったことです。募金、無駄遣いをしない、節水、節電等子ども達からたくさん意見が出ました。僕は子どもがこんなことを考えることができるなんてと驚きました。

実は僕はこのキャンプの二週間前に宮城県の塩釜というところでボランティアをしました。そして、石巻を見る機会がありました。住宅地が全部流されたり、人形、服など思い出の物が道端に置いてあったりして、心がとても苦しくなり、言葉が頭に浮かばなく頭の中は本当に真っ白でした。僕は早く帰りたい。もう見たくないと思いのなかで思っていました。それなのに自分はより年下、それもまだ小学生が嫌がらずに

こんなことを考えることができるなんて自分もまだまだ未熟な人間だと感じました。

今回のサマーキャンプのテーマは「カビット・カマイ(手をつなごう)」でした。僕はカビット・カマイ(手をつなぐ)というのは一つになって助け合うことだと思います。自分はこの東日本大震災とは関係がないというバラバラなのではなく、同じ日本という国に住んでいるのだから、同じ人間なのだから被災者の方々のために何ができるか考えてみようというみんなで一つになって助け合う、そして一つになったことで弱点をお互いに埋め合うことができると思います。今回のキャンプでは自分には関係ないという子どもは一人もいなく、みんなで一つになって考えることができ、充実した話し合いをすることができました。

リーダー達にも子ども達にもたくさんのごことを学べるキャンプになったと思います。

二泊三日でしたが本当に bilisan mo (早く)、楽しく、最高でした。

最後になりましたがキャンプ中お世話になった方々、シスター方、神父様方、そして子ども達、素晴らしい思い出をありがとうございました!!

テーマを考え、「何か」を感じた

横浜サレジオ志願院

高校2年 春山 忠

僕は初めて山形のキャンプに参加させていただきました。初めて会う子供たちでしたが、グラウンドで遊んだり、鮎のつかみどりをしているうちに仲良くなることができました。ただ、子供たちが自分で朝5時に起きて、遊び始めたことには驚きました。

キャンプでは楽しい行事がたくさんありました。しかし、遊ぶことがすべてキャンプではなく、あの東日本大震災の話を通して聞いて、今回のキャンプのテーマである「カビット カ

マイ 手をつなごう」について考え、また、話し合う機会がありとてもいいことだと思いました。子供たちは楽しい思い出を作っただけでなく、テーマについて考えたことによって僕自身も含めて「何か」を感じることが出来たと思います。

キャンプでお世話になった方々、神父様方、シスター方、本当にありがとうございました。そして、自分にこのキャンプに参加する機会を与えられたことに感謝しています。ありがとうございました。

多くのスタッフに恵まれ大成功

サレジオ・シスターズ

シスター 瀬戸 俊美

今回、私は初めて山形教会と新庄教会合同サマーキャンプにスタッフの一員として参加させていただきました。

女子10名、男子10名の参加者のために、大勢のスタッフが協力して、このキャンプを素晴らしいものにしていったことに感銘を覚えました。3名の神父様方(本間神父様、三島神父様、塩田神父様)、5名のサレジオ会志願生、イエスのカリタス会からのシスター1名と修練期前の志願生1名、オタワ愛徳修道女会のシスター方、そして私たち2名のサレジオ・シスターズ、さらにそれぞれの教会からのお母様方に山形教会の青年リーダー1名と京都からのご家族という豊かな顔ぶれのスタッフが勢揃いし、子ども達のため、それぞれの分野で協力し、キャンプを盛り上げていきました。

私は、毎年のようにキャンプに参加していますが、こんなに恵まれたスタッフの皆様に出会えたのは初めてでした。子ども

達と一緒に、子ども達のニーズに合わせて走り回って活動した志願生たちの存在は光っていました。パーベキューやカレーライスなど美味しい食事をいただきながらの楽しい交わりを一時を準備して下さったお母様方の行き届いたご配慮も思い出に刻まれました。

大雨の中にあっても、野外活動のためには好天に恵まれました。今回は、東日本大震災のために身近で苦しんでいる方々と手をつなぐため共に考え、祈り合うことができたことが深く心に残っております。

サマーキャンプに参加した子ども達、直接に関わったスタッフの皆様、また間接的に応援して下さった多くの方々に囲まれてとても恵まれたキャンプを過ごすことが出来たことを皆様と皆様と心から感謝いたしております。本間神父様を始め、皆様本当に有り難うございました。



アナリサさんと賢治ちゃん

菊地司教様

井上哲也さん

我が子と一緒に洗礼の秘跡

5月1日に1ヶ月の息子と一緒に洗礼を受けました。初めてミサに参加したのは、約1年前でした。妻に連れられて山形の教会でのミサでした。それから、新庄の「わくわく新庄」で月2回のミサに参加していました。妻の妊娠がわかってから、息子と一緒に洗礼を受けることを決めました。私は洗礼を受けることが、新たな生活のスタートを切ることだと思い、洗礼を受け、キリストの共同体の一員となりました。洗礼を受けた日に、新庄教会の皆さんから聖書を貰いました。今、聖書を毎日少しずつですが、読み勉強しています。まだわからない所の方が多いので勉強して少しでも早く共同体として祈りをささげたいと思っています

(井上哲也)





ようこそ新庄教会へ

新庄教会においていただいたゲストをご紹介します。

6/12



カリタスジャパン
成井大介神父様

愛知県出身 Devine Word Missionary のメンバーの一人です。Caritas Japan のディレクターで10人のスタッフと活動中だそうです。1999年にフィリピンに五ヶ月間滞在したことがあり、フィリピンが好きだとおっしゃっています。とてもタガログ語が上手で、そしておもしろく優しい神父様でした。現在、宮城県でボランティアをしているそうです。新庄カトリック教会の6月12日のミサに成井神父様が来てくださいました。成井神父様がタガログ語で話したのでみんな喜んでいました。そしてミサの中で被災地の話をしてくださいました。成井神父様達は被災地の被害にあった人達のために10人のスタッフと一緒に体や心の休める場所を作るなど、現在もその活動を続けています。成井神父様達は心に深い傷をおった被災者の方達のために心のケアをしています。しかし、今避難所ではコミュニティがなく落ち着く場所もなくあちこちの避難所を転々としている人達もいるようです。その人たちが成井神父様達と出会い、少しでも元気を取り戻してほしいと願っています。被災地のはやい復興を心から願っています。

6/19



イエズス・マリアの聖心会
官区長
山田宜明神父様

茨城県笠間市友部修道院に住んでいます。神父になってから40年間、日本とフィリピンのJM聖心会の管区長をしています。1949年茨城県にJM聖心会が来て、その後1952年に山形に来ました。

新庄教会に来た山田神父様の印象は…以前、建物がまだ幼稚園だった冬のころに一回見に来ており、あの頃と比べてとっても教会らしくなったからびっくりしました。それからもう一つの印象はフィリピンの方々が沢山いらして、そしてそれぞれの係りを決め責任を分担しあって、とても感動しました。

山田神父様達は今、鹿島教会に行っています。普段は日本語のミサ、月に一回はフィリピン人の英語のミサをやっています。

6/26



聖心侍女修道会
Sr.塩谷惇子(モニカ)

聖心侍女修道会の修道院に住んでいます。今、修道院には5人います。半分は大学のカウンセラーになっています。(STUDIES ON GLOBAL CITEZENSHIP) 困っている外国人の悩みを聞いています。たとえば日本語の理解をできない、文化の違いなどで、共同体を作るのは難しいそうです。

2011年6月26日に新庄教会に来られました。新庄には2回くらい来たことがあります。教会ができてから、今回初めて来ました。新庄教会の印象は明るい教会で女性が多く、男性が少なくてびっくりしました。侍者の子供が沢山いて、教育が良い教会だと言っていました。聖歌も日本語と英語の両方をやっています。目黒教会では男性が沢山いますが、ミサが終わったらみんなすぐ帰るようです。新庄ではミサ終わったあと、お茶を飲みながらいろんな話をしています。

7/3



目黒教会信徒
石川さゆりさん

新庄教会をたずねるのは二回目でした。5月に、はじめて音楽仲間と一緒に来た時は、時間がなくてお話できませんでした。今回はみなさんとゆっくりお話できて、友達になれてとても楽しかったです。どうぞこれからも友達でいてください。私達はロザリオの玉のようなものだと思います。神様が私達をつないで、一つの輪に集めて下さっています。新庄教会のために、みなさんのためにお祈りします。この次に行く時はまだお話しした事がない方々ともぜひお話ししたいと思います。そして良かったら友達になってください。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

7/24



広島教区 (熾町教会)
後藤正史神父様

(Memorial Cathedral) から来ました。7月24日の新庄教会のミサをしてくださいました。ミサが終わったあとにいろんな話をしてくださいました。新庄教会はとっても良い教会だと言っていました。みんなさんもとっても明るくて、フレンドリー(friendly)な雰囲気がとってもよかったです。

フィリピンに1年間住んだことがありました。好きな食べ物はバナナ、マンゴ、ココナッツなど。始めて会った人でも親しく話をする事が出来てとっても良かったと言っていました。

♡ What is Love? ♡

I have been living in Japan for 22 years. When I was in High School my father got sick, and my aunt offered us to enroll in High School. My brother and I stayed in her house for 4 years. She enrolled us in one of the best schools, but she did not teach us the meaning of Love. She is a self-centered person and thinks always about money. I'm always thinking of escaping, but I was thinking of my brother and I want to graduate. After graduation I escaped, and I was able to breathe. In that case, I became a hard-headed person.



As life goes on, I'm only thinking about my fleshly desire (worldly desire). There was no God in my heart. My heart was filled with doubts and fears. Proverbs 4 : 23 it says, **Keep your heart with all diligence, for out of it spring the issues of life.**

I also broke up with my boyfriend. Why? Because I don't know to express the meaning of Love. One day I met God, and I found out that my heart changes. I met Love through **Jesus Christ**. In 1 Corinthians chapter 13 : 4 - 8 it says, **Love suffers long and is Kind : love does not envy, love does not parade itself, is not puffed up, does not behave rudely, does not seek its own, is not provoked, thinks no evil, does not rejoice in iniquity, but rejoices in the truth, bears all things, believes all things, hopes all things, endures all things, Love never fails.**

If there is God in our heart we can find " the true happiness. "

Thanks, Glory and Honor to our Lord.

Gemma Aketori

♡ 愛とは何ですか ♡

私は日本に来て22年になりました。私の父は体が弱いので、仕事ができませんでした。だから、おばさんが私と弟を学校に入れてくれました。私たちを良い学校へ入れてくれましたけれど、でも私のおばさんは愛のことを教えてくれませんでした。彼女の頭の中はお金と自分のことだけでした。だから、何回も何回も家に逃げ帰りたいと思いました。でも、高校だけは卒業したいとがんばりました。高校を卒業しておばさんの家を出て、気持ちのうえではとても楽になったようです。でも、そのことで心は固くなりました。

何でも事を楽にしたいと、人生を進みながら欲望のことを考えました。神様なしで生きていました。心の中は不安、恐怖、疑問でした。彼とも別れました。なぜなら彼に愛をどのように伝えたいのか、分からなかったからです。ある日、私は神に出会いました。本当に私の心が変わりました。イエス様によって愛に出会いました。

1.コリント13:4~8 愛を書いてあります。

愛は寛容であり、愛は親切であり、また、人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人の悪を思わず、不正を喜ばずに真理を喜びます。すべてを我慢し、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを堪え忍びます。愛は決して絶えることはありません。預言の賜物ならばすたれます。異言ならばやみます。知識ならばすたれます。

私たちの心の中に神様がいれば、幸せです。神様に愛をささげます。

明採ジイマ

A Short Prayer

God, our Father, walk through my house and take away all worries and illnesses and please watch over and heal my family in Jesus name, Amen.



“カピット カマイ”

カピットカマイって言うのは手をつなごうの意味です。なぜこれを選んだかって言う？今新庄教会には、みんな手をつないで教会を守る必要がある。皆様これからも応援宜しくお願いします。
(Aida Igarashi) 五十嵐アイダ